



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

老後のいましめ

●百野達夫さん

家

族同士や隣近所の人たちと仲良く暮らすための処世訓なる記事があったので、さつま弁入りで披露することにした。

①年をとつたら出しゃばらず、憎まれ口に泣きごとに人の蔭口、愚痴を言わず、他人のことをよく褒めて、聞かれたら教えてあげても、知っていることでも知らんふり。

②勝つたらいかん、負けやんせ。いずれお世話になる身なり。若いもんには花もたせ、一歩さがって譲るのが円満のコツじゃつど。

③お金の欲を捨てやんせ。な

んぶカネあったとて死んだら持つていかならん。あの人よか人じゃつたなど、そんなに人から言われるよう世間や社会の人々に、生きてるうちにバラまいて…。

④というのは、それは表向き。本当はゼニを離さずに、死ぬまで金はしつかり持つておいやんせ。金さえあれば他人でも最後まで見てくれる。内緒じゃつどん本当よ。ゲートボールはいいことよ。勝ち負け忘れて元氣よく、年寄り同士仲良く、今日も感謝で暮らそうよ。

楽しく長生きをするためのコツですね。軽快なさつま弁で披露していただきました。どれも、周囲との人間関係

を良好に保つために必要なことで、とても勉強になりました。百野さんの教えのとおり、ちよつとした心配りで、みんなが笑顔になれます。そのことに1人でも多くの人が気づくことができれば、もっと優しい社会になるのでしょうか。

今月号のまちの話のコーナーでインタビュさせていだいた木島さんの言葉で印象に残っているものがあります。

「人間関係はすべて、あいさつが基本。あいさつができれば、人間関係は大丈夫なんです」と言われました。最近人間関係が希薄になっていると言われています。小さなことの積み重ねが大事なのだと改めて感じました。

百野さんのおっしゃるとおり、いつも『感謝』を忘れずに生活したいものです。

幸島のボスザルの名前

●タンポポさん

の天然記念物に指定されている幸島のボスザル、ホタテが今月中旬ごろの様子が見えなくなったとのこ

ようやく育児Ⅱ育自を楽しめるようになってきたけれど、娘が生後6カ月くらいに時に自分でもどうしたらいいか、さっぱりわからない精神状態に陥りすごく苦しい時期がありました。

その理由は娘にハンデを負わせてしまったこと。逆子のまま脚から生まれたし、2カ月も早産だったせいもあり、生まれた直後は仮死状態。娘の生命力とドクターやスタッフさんたちの最善の努力で蘇生しましたが退院時に検査の結果、未熟児性の先天性難聴が判明しました。

娘は左耳がほとんど聞こえていません。幸い右耳が正常に聞こえているので生活には今のところ支障はありません。わたしは娘の7歳の誕生日に『おめでとう』と『ありがとう』と『ごめんね』を伝えました。

「お誕生日おめでとう。パパとママのところに生まれてくれて、ありがとう。左のお耳ちゃんと聞こえないまま生んでごめんね」と伝えました。すると娘はこう言いました。

「ママに早く会いたかったから早く生まれたとよ。ママのお腹せまかったから仕方ないわ」って笑顔で。「ママ、気にしなくていいよ」って言うてくれたようで、わたしの中の葛藤が一気に溶けていきました。最近、息子がわたしに「ママ、絶対死なないでね。ママ大好きだから」と寝る前に言います。

子どもって本当に『宝物』だなって思います。ふたりの子どもたちを、死ぬまで大切に育んでいこうと思います。

お母さんと娘さん。お互いを思いやる姿が目につかびます。娘さんは、お母さんに「ごめんね」と言わせたくなかったのでしょうか。そして本当に、お母さんに早く会いたかったのでしょうか。娘さんと息子さん、ふたりともsmileママさんと親子になれてよかった！と心の底から思っているのではないのでしょうか。「育児は育自」。これからもお互いを大切に育んでいかれてください。

と。多分育ての親でもあった三戸サツエさんの住む黄泉の国へと旅立ったのではないのでしょうか。

それで今度は8代目のボスはカバが昇格したとのことですね。なんとサルの名前って面白いナアと思いました。ちなみにホタテは、わたしの知る限り貝の一種だと、またカバはあの口の大きい動物だと思おうと面白おかしくって1人で大笑いしました。

101頭の群れの約60頭を率いて、優しい性格のカバがボスザルとして、これから活躍していくことを期待したいものです。

幸島のサルの名前、大変面白いですよ。歴代のボスザルの名前を京都大学野生動物研究センター幸島観察所に聞いてみました。初代から、カミナリ、セムシ、ナベ、ゲシ、ノソ、ケムシ、ホタテ、カバ、とのことです。最近、オスは動物の名前、メスは植物の名前を付けているそうです。明確な基準はなかったのですが、その名前が似合っ

てくるのが不思議ですよ。育ての親である三戸サツエさん。宮崎県文化賞、文化功労部門の受賞が決定し、11月6日には授賞式が行われます。今ごろ、ホタテと天国でよこび合っているのではないのでしょうか。

視覚障害者福祉からのお知らせ

●住本広光さん

わ

たしたち視覚障害者福祉会では、これまで調理体験やカラオケ大会などを通じて互いの親睦を深めるとともに、自立と社会参加を目指す活動してまいりました。ところが高齢化や社会情勢の変化に伴い、会員の減少が進み、社会的存続が難しくなってきました。

そこで本年12月まで入会希望者がいない場合、来年3月をもって解散を考えているところです。会員といたしましては、まことに残念な状態となっております。過疎化も進んでおり、同じ障がい者理解しあえるチャンスも減りつつあることと思えます。

メッセージ・写真投稿コーナー

お誕生のお祝いや、感謝の気持ちをメッセージにして贈りませんか。また、あなたが撮影した写真（人・風景・ペットなんでも可）もぜひ、お送りください。



秋の風景をばちり。写真は、都井岬の風景です。暑い夏が過ぎ、馬ものびのび草を食べていました。また、彼岸花もちらほら咲いていましたよ。秋を感じに都井岬にドライブはどうでしょうか！

●珊瑚さん

【お詫びと訂正】先月号の当ページで紹介した「河野浩康さん」は「河野浩泰さん」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

わ

大切な子どもたち

●smileママさん

視覚障害者福祉会からの切実なお願いです。まわりに障がいを持っている方がいらっしやる方など、ぜひお声をかけをされてみてください。

☎72-8355(住本さん)

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください（紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができません。あらかじめご了承ください）。

- ①名前（ペンネーム可）②連絡先
- ③コメントを必ず添えてください。
- ◎Eメールアドレス
info@city.kushima.lg.jp



◎伝言メッセージ例

じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

お便りお待ちしております。